

安芸高田市民モニター 集約結果

【第4回：新たな墓地のあり方に関する市民の意識調査】

調査実施期間

2023年11月13日（月） ～ 2023年11月27日（月）

【アンケートの目的】

社会情勢の変化や少子化に伴い、お墓に対する考え方も変化してきており、散骨や自然葬にみられるような従来の墓地以外のニーズも増加しています。

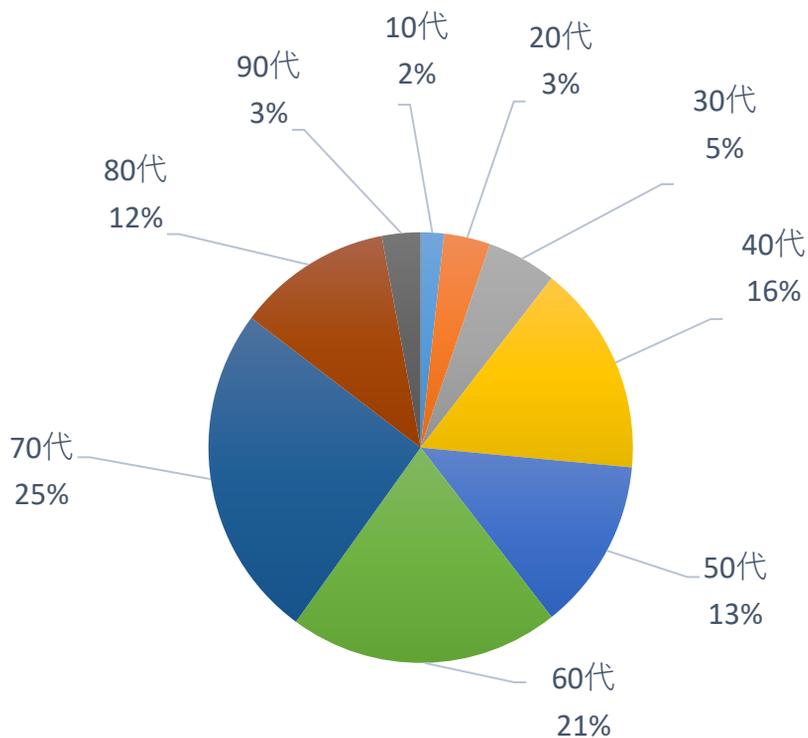
今後の多様化する墓地のニーズに対して、市民の意識調査を行い、新たな墓地のあり方の検討資料とするため、アンケート調査を行いました。

○文中の【n】は「有効回答者数」、【SA】は「単数回答」を表しています。

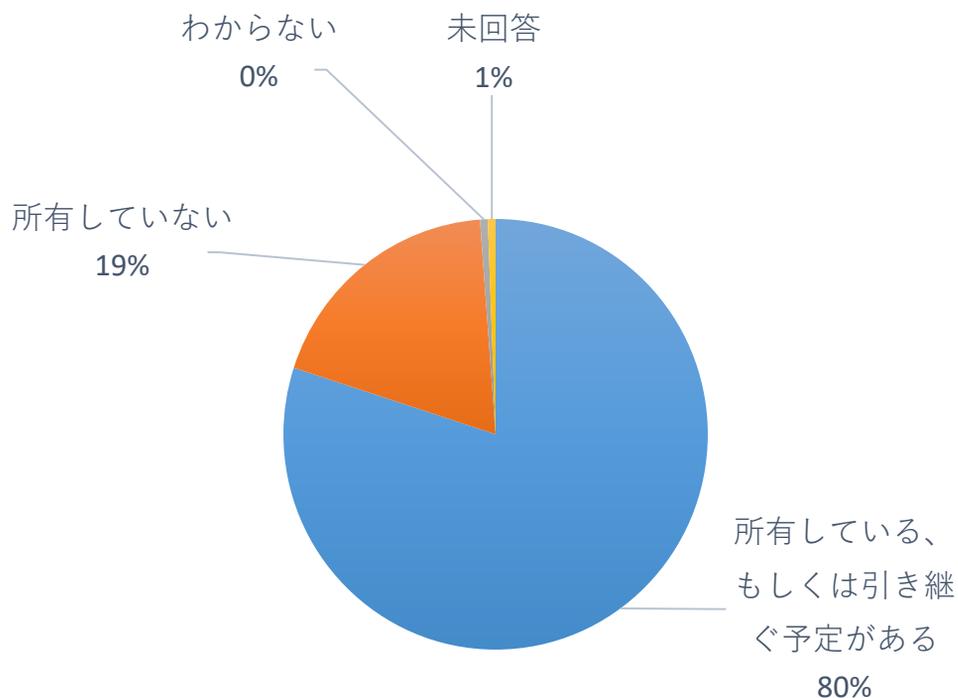
モニター回答者数【n】

全体数	回答者数	割合
206	170	82.5%

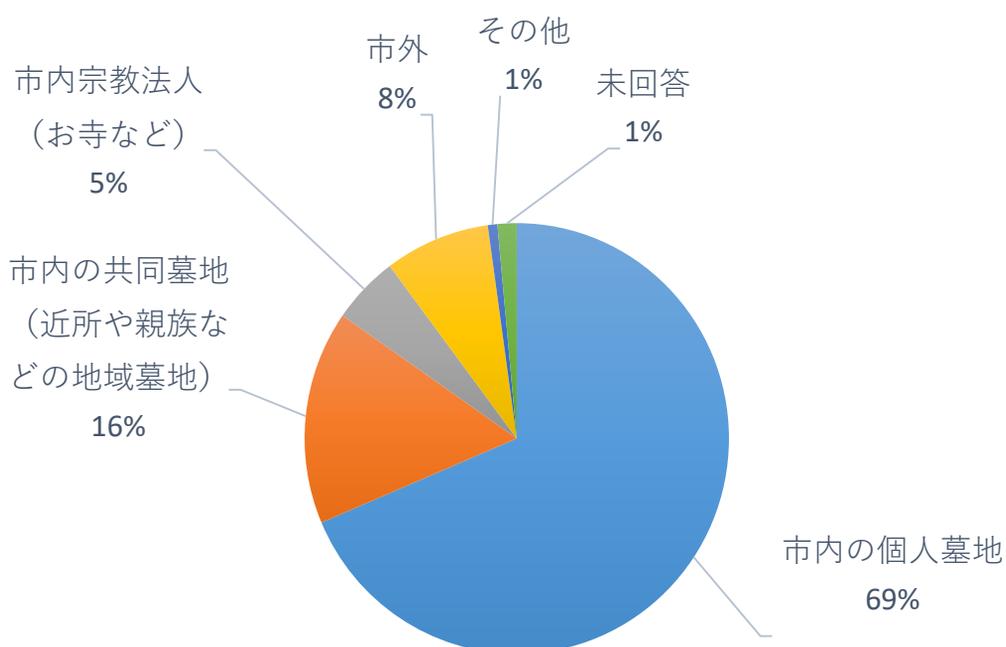
年代	回答者数
10代	3
20代	6
30代	9
40代	27
50代	22
60代	35
70代	43
80代	20
90代	5



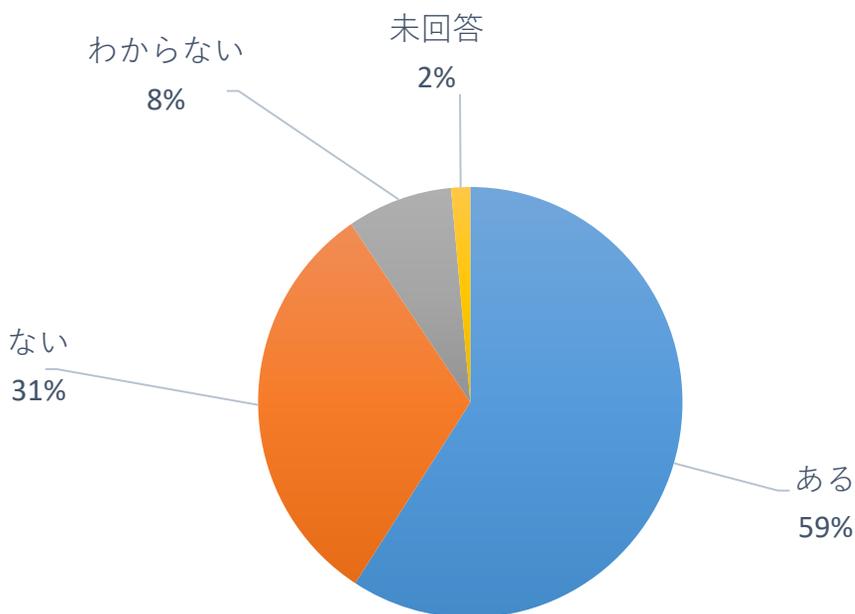
【問1】 現在、お墓を所有していますか？ 【SA】



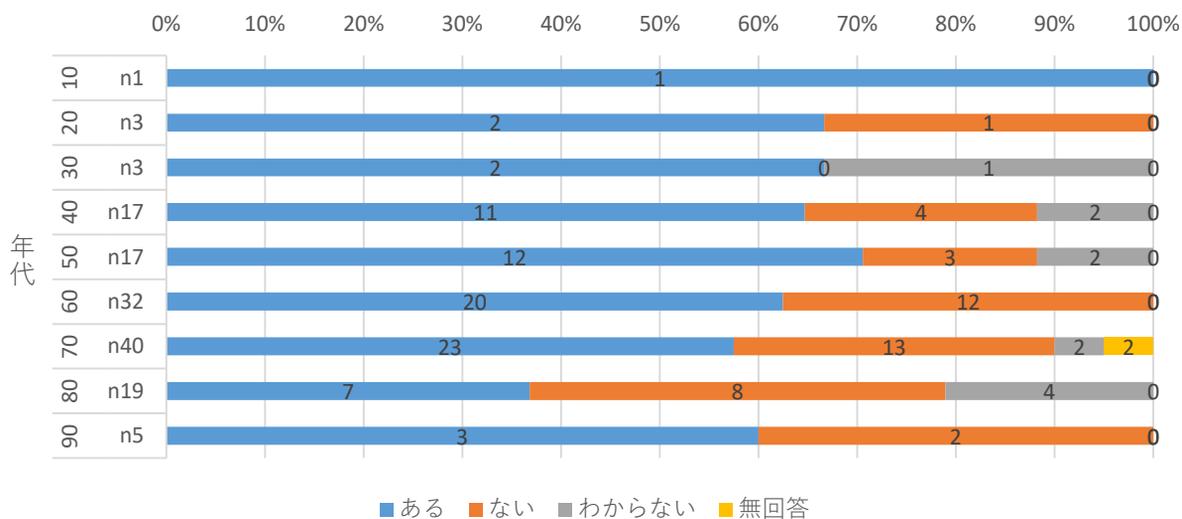
【問2】 所有しているお墓の場所はどこですか？ 【SA】



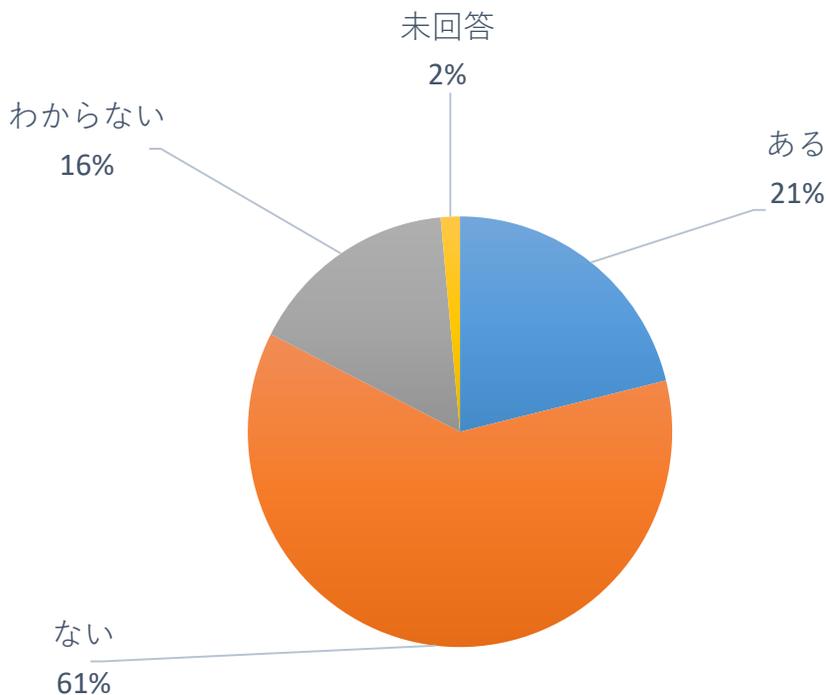
【問3】 今後お墓を管理していくことについて不安はありますか？【SA】



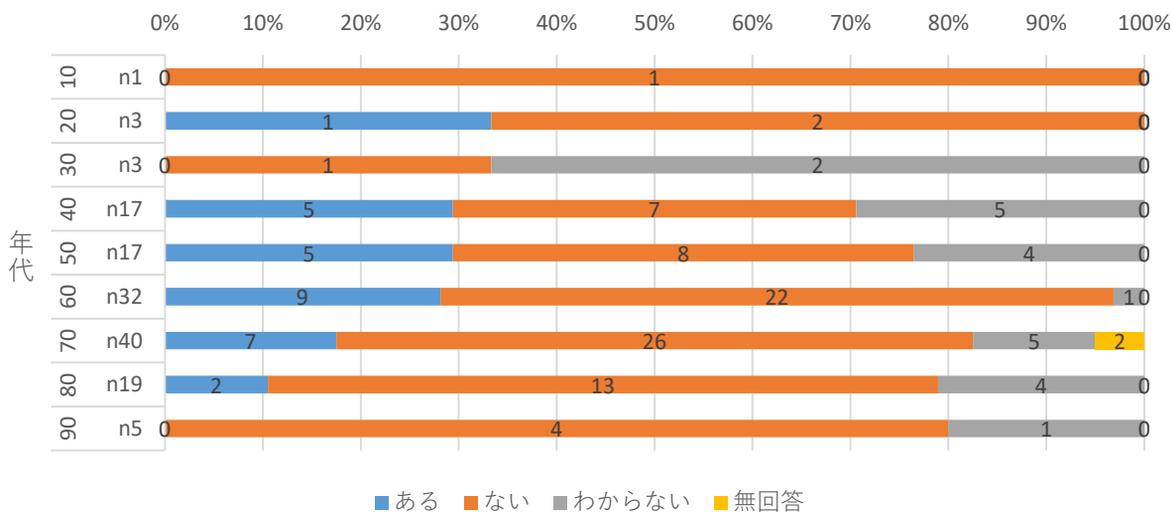
年代別回答



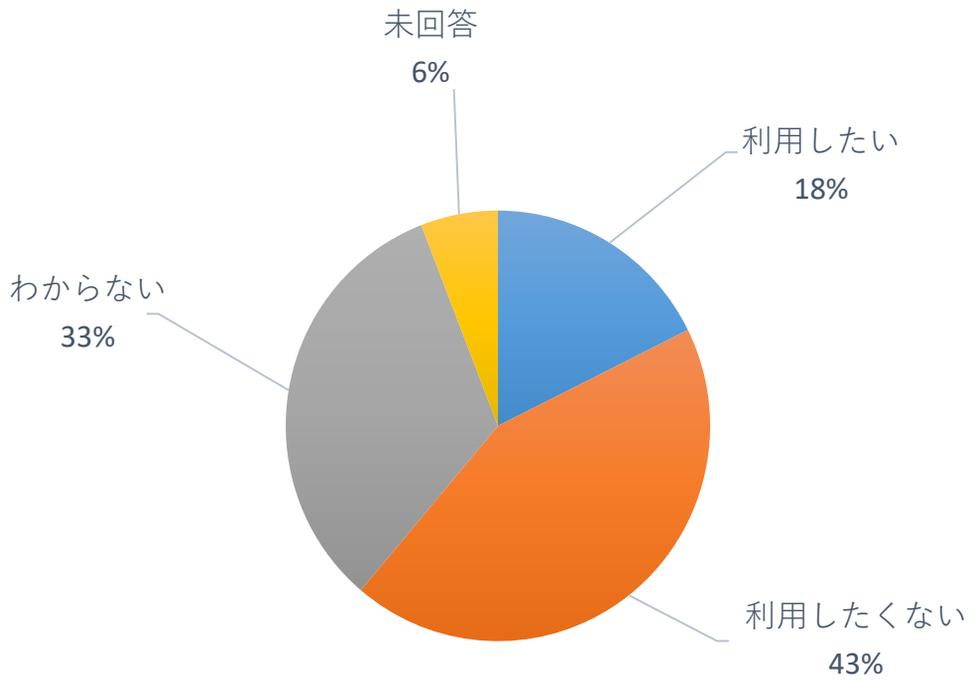
【問4】 墓じまいをお考えになったことはありますか？
 （墓じまいとは、現在所有しているお墓を撤去し、遺骨を納骨堂や合葬墓等に移すことです。） 【SA】



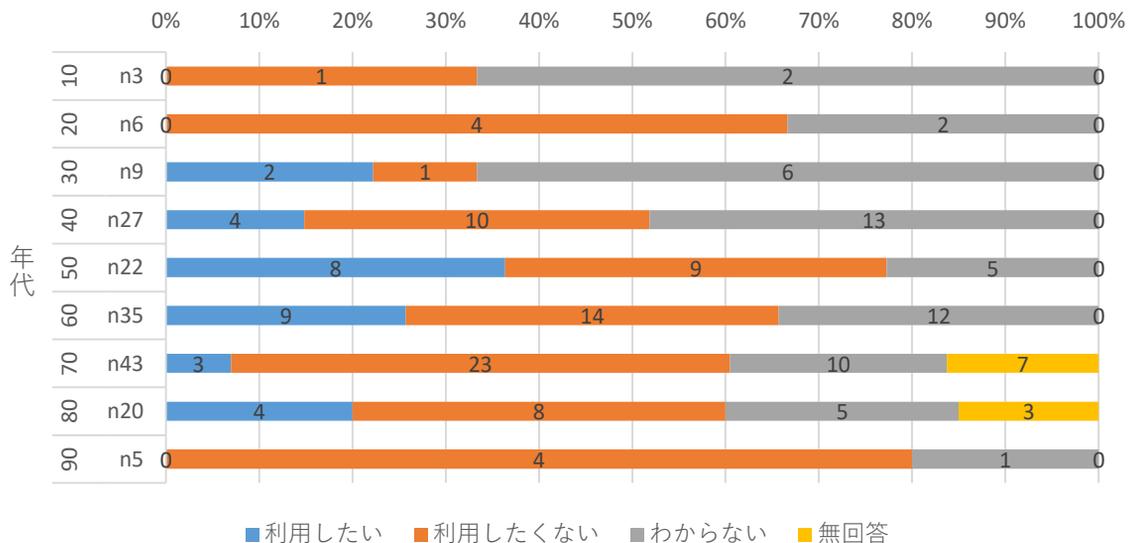
年代別回答



【問5】合葬墓を利用したいですか？
 （合葬墓とは、宗教、宗派を問わず多くの方々の遺骨を
 合同で埋蔵するお墓です。） 【SA】



年代別回答



【問6】 新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓所有で合葬墓利用を希望するとの回答者①〕

●そもそも死者を葬る「墓」の意味や歴史的な変遷を世界的な視野を持って見つめ直して見ることも「墓」に対する基本的な考えを深める意味でも大切ではないかと思う。今般の墓を巡る諸課題を少子高齢化人口減や空き家問題等に繋がる問題として捉え様々な立場から多面的多角的に議論することも必要だと思う。

●共同墓地や納骨堂が増えたらありがたいです。

●建物の中の墓を利用したいと思います。

●現在も山の斜面に沿って墓所があるので高齢になるとお墓参りも大変になります。場所的にも平坦で交通の便が良い所に合葬墓があれば助かると思います。足腰が弱るとお墓参りも行けなくなるし、自分がお墓に入っても誰にも参ってもらえなくなると思うと淋しいですね！

●子供が県外に嫁いでいます。なので、お墓にお参りする際も、交通の便が良い所が良いです。私達が亡くなった後は、墓守がいないので、合葬が安心出来ます。

●市営の共同墓地の設置を願います。

●私自身はお墓参りが出来る事で安心感をもらっていますが、この先の必要性は悩みます。この辺りでは昔からのお墓で墓地も他人の土地に建墓の状態です。そのあたりも気になりますがご近所とは仲良くしていきたいので悩みます。地区に合同墓地が出来ると安心ですが反対の方もおられるでしょうから難しいですね。

●私達も後継者がいないのでいつまで現在のお墓の管理が出来るかわかりません。市内に合葬墓が出来ると嬉しいです。

●手つかずになったり、管理するのが高齢の方のお墓から優先的に合葬墓の利用をすすめてあげてほしい。

●将来的に後継者が現在の墓地に埋葬することは、市内近郊に居住していないため懸念される。近年の個人墓地における管理者が高齢化が進むため管理者が年々居なくなる傾向が進むため市管理の合葬墓は将来的に有望である。

●少子化、過疎化の中個人の墓はいずれ成り立たなくなると思います。合葬墓など今後は需要が増えていくと思います。

●世代交代が出来て家が代々続くのであれば、今のままでも良いと思うが、途切れる場合は合葬墓及び納骨堂を利用すべき思う。

●墓じまいしても、墓じまいした人は生きている。家系の中の最後の一人の死亡後の受け皿となりうるものを考えてほしい。

●某テレビCMにあるような、スマホアプリでお参りをするようなことがもっと一般化すればよいと思います。大切なのは、お墓に行くことそれ自体ではなく供養の気持ちだと思うので。

【問6】 新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓所有で合葬墓利用を希望しないとの回答者①〕

●いろいろな墓地や供養の在り方があって良いと思います。また、常日頃から考えるテーマではないので、いざとなると分からないことが多いです。よって、地域に密着した墓地に関するわかりやすい情報が発信されることで、故人が生前に残る家族と話し合い予め決めておくことができるきっかけになるとと思います。

●できれば自宅の近くに墓を移したいと希望しているが、墓の移動は難しい問題がありどうしたものやらと思っています。最近は無縁仏状態の墓もあり困りますよね。

●以前は山の中腹あたりの墓地が多かった。今は自宅の付近に移動されている方が多いですね。墓守りを子供達が果してやってくれるだろうか。考え方、価値観が時代とともに変わって行きますね。人口の減少もありますし・・・。思余一杯です。

●核家族化が進みまた、若い世代の人達は首都圏で就職している現状は我家も墓地の管理について他人事ではありません。今すぐではありませんが、10年先頃には県外に住む子ども達と今後を考える必要があると思っています。

●空き家も増える中、山にあるお墓の管理をこの先若い人達が管理していくのは難しくなっていくと思います。市の管理でお墓ではなく納骨堂の様な場所ができれば家を継ぐ＝管理という考えが少し楽になるかなと考えます。

●現在ある墓を、今後も維持する事しか考えてません。

●現在墓地の管理をしています。絶えた家の墓の整理、相続者いても連絡が取れない人の問題、墓地周辺の環境問題（立木、土砂災害）法律上の問題 経済的理由による廃墓ができない家が多く処理が進まない。

●現時点では墓に関しては不安はありません。子供達は市内に家をそれぞれ建てているので将来は墓の管理ができなくなりそうなので市内にも広島市内に有るような型の墓地が必要になるのでは？

●固定されたところでなく散骨のようなあり方がいいです。

●後世に負担がない方法で考えたいとは思いますが、今のところ具体的なことは考えてない。両親の墓があり、自分達が元気な間は守りたいと思う。

●今は元気で働かせて頂いているので現時点ではお墓の事はあまり考えていませんが、これから先は考えないといけなくなりますよね・・・。

●今頃は色んな事情で合葬墓を希望する人が増加すると思われるが現在私としては、私の時代に造った墓地であり他に移設する考えは無い。

●散骨は良いと思う（川や海）量はごく少量。土葬は認めないで欲しい（衛生上又宗教上でも認めない）。自己家屋の敷地の墓地を認めないで欲しい。法律上問題あり。

【問6】新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓所有で合葬墓利用を希望しないとの回答者②〕

●子や孫の代になるとどうなるか不安ではある。

●子供がいたら子供が管理してくれるでしょうけど、子供が居なく独りだったら、お寺様に事前に相談して（お世話して頂ける方とか）お決めになられた方が??私個人は自分の墓は建てているので、まだ実際に墓とか考えた事もなかったので何とも言えないです。

●死亡届のみで個人の生存管理を行い墓地の製造は、禁止の条例を制定する。個人をしのぶのは、仏壇のあたりに遺影をそなえる。または、遺骨の一部分を自分の都合の良いように保管する。そうする事で、地球環境負荷を負に向ける事を避ける事が出来る。地球上に住む義務。

●次世代の事は余り話したことはないですが、希望としては同じ場所が望ましいと思っています。望むことならお寺の門徒の方達と同じ場所に墓所があればいいと思います。

●自分が管理できる時はよいけれど健康にも不安が出てくると今後の管理は不安です。子供達は遠方に住んでいるので、管理までは無理かな?と思います。

●場所的に良い場所ならよいのですが、昔の墓は山の近くが多く高齢者は大変になり墓の管理しない自宅に有ります。

●新たな墓地とは個人用のものか合葬墓なのかわかりませんが、墓地とは大事なものです。空家も多くなり毎年再々墓そうじに来られる人が少なくなっています。そうした現状をみて、今頃の若い人達の考えがわかりません。自分の親兄弟など身内の祖先の事は大事になる必要が有ると思います。お寺と相談してみる事も必要と思います。

●新たな墓地のあり方は、いろいろな形がこれからもでてくるとは思いますが自分でできるうちは親やご先祖様のお墓を守っていきたいと思っているが、20年先位には合葬墓とかも視野に入れていく必要がでてくると思う。

●新たに墓地を作ろうと思ったら大変だと思いました。費用や土地、場所探すのも大変だと思いました。

●人は居なくなり集落も絶えそう美土里町墓の心配も何もいらぬように思います。墓は個人が考えればよいのではないのでしょうか 墓は管理する人が居る間は守れると思いますが、子供が少なくて子供が居なくなりそうな家には墓は自然の中で山に戻るのです。私達の集落でも2.30年前までは墓参りにも訪れそうじもされていましたが、近年は全くそんな家はありません。それば仕方のない事です。子孫が居る間はなんとかなるにしても以後は忘れられていくのだと思います。ひとがとやかかいう必要はないと思います。

●世の流れに伴い今後の墓地の取扱管理は重要な課題と思います。

【問6】 新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓所有で合葬墓利用を希望しないとの回答者③〕

●先祖から続いている墓を私の題で帰るつもりはありませんが、息子には可能な限り継承して行って欲しいと希望します。

●大きな都市でなら考えると思うが、田舎の無駄な土地を持っているような人達が合葬墓を利用するとは考えにくいと思う。

●知人は子供に迷惑をかけたくないと墓を新設されたが子供が県外に帰る予定がない為処分がいいかと案じておられます。別の知人は主人が亡くなられても引きつぐ人がいない為墓を持たずお寺に預けておられます。将来的には色々と言が出てくると思います。

●田舎であるので祖先よりの墓地を身内で引継いでます。将来にも親族で行くので問題なしです。（正月とか盆など掃除や参拝など実施しています。）温故知新（創新）・郷里への想い。

●田舎なので土地がありあまって私有地内に墓を建てている人が多いと思うが、整備された共同で使う墓所もあっても良いかと思う。

●田舎は自宅の敷地無いに墓があり寺と分骨しているので「墓じまい」をする人は少ないと思う。

●墓の管理は高齢になるにつれてかなりの負担だと思いましたが、先祖の人の墓は市街に住んでいる子供達に引き続けてもらえればと思います。墓じまいをする時が来るかも知れないと思いますが現次点では考えることが来ないのが今の気持ちです。

●墓地は自宅の近くにあることで管理ができるし、墓参りも必要な時にすることが出来る。

【問6】新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓所有で合葬墓利用はわからないとの回答者①〕

●空屋問題と同様に近い将来、無縁墓問題が起ると感じます。墓地経営は、宗教法人と地方公共団体にしか許可されないと思います。安芸高田市において対策の検討をお願いします。

●墓地というよりも墓自体の考え方が変わっているのではないのでしょうか。

●10年20年先の事を考えると合葬墓もありかと思えます。近くに合葬墓があれば選択肢が広がるかと思えます。

●Q5は具体的な内容が分かれば回答出来るが、合葬墓のあり方によって回答が異なる。例えばビル形引出し型式の建物を公園的にアレンジ、扉部分には氏名や家族名などを入れる。廃校校舎活用など出来れば良いのではないか。

●お寺の納骨堂に入れてもらうつもりです。息子に嫁がおりませんので無えん墓になりますので、お寺にお願いするつもりです。私と息子3人分です。先立った主人も分骨してお寺に入れておりますので。

●お墓の管理が難しくなってくるので、自分の場合は自然葬でもいいかな。

●お墓を建てる場所の基準が分からない。先祖を守るというイメージがあるが自分も迷惑かけるのではないかと不安があるので生前に選択どうするか決めておくツールがあっても良いのでは...

●この問題がいちばん難しいかもしれませんね。私が子供の頃は人が死んだら墓を立てると誰もが思っていたことが今の時代は色々な考え方があって方法もそれぞれだし何が正解かわからないけど、私は子供に任せるしかないかな。子供にしてみれば迷惑かもね。あまり深く考えた事がなかったので、これから先どうなるのだろうとは思っています。来月はどんな問題なんだろう誰が考えるのだろうとふと思いました。

●これからもっとお墓については管理が難しくなっていくと思います。今は親が管理していますが、私たちになったら大丈夫かなと心配はあります。墓の位置も、山の上から降ろしました。それだけでもお金がたくさんかかりました。お金がかかる世の中、お墓問題はとても重要です。まだ考えが定まらないところです。

●だんだん高齢になってくるとお墓を管理できなくなってくるので心配はあります。お墓を移すのも大変手間がかかると聞くと、子どもが近くにいない場合は管理できなくなるので困ります。合葬墓も都市ではそのような形もあるようですが、その場所が居住地から遠い場合は交通手段もあまりないので困るだろうなと思います。

●どのように墓地を守っていくか、前々から少し気になっていたが真剣に考える機会になったと思います。家族が集った時に話し合う必要がある。

【問6】 新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓所有で合葬墓利用はわからないとの回答者②〕

●急速に変化する今日 古来の風習を維持する事の難しさ 家の守りなど直面しています。墓じまいも旧家の徳川末期の記念石の様な墓 夫婦墓などトラック4台で運んで行く様子を寂寥の思いでながめました。仏壇もアミダ様や影像も一緒に出されたとか寄の事ながら明日は我が身、そんな心境です。

●現在先祖から受け継いだ墓あり とりあえずそこに入る予定ですが子供、孫の代になり負担になるのはいかがなものかと思っている。将来的にその時決めて貰えば特にこだわりはない。

●今のところ、現状維持しか考えていない。

●子供達か遠方により墓そうじしてくれるか。まわりの墓の人達に迷惑かけるだろうととても心配です。夫が死ぬる前お寺の合葬墓に入ろうともちかけたのですが強く反対され現在、墓のまわり草の生えないようにしたのですがいつまでもつものか。私はそれ以上考えないことにしました。子供達にどうしてもいいよと云ってあります。

●市民の安心を担保するというのを、仮に安芸高田市内における地域福祉の基本思想とするなら合祀・合葬などは有用だと考えます。担い手が居ないにも関わらず故人の処遇をどうするかという問題はいずれ今以上に表面化します。またその際、理想だけを口にするなら個人を特定できる方法を採用するとより反発は少ないように思われます。集合墓所を小さな村のような設計にし、個人墓を住宅のように見立てるなど。(あくまでアイデアです。)宗教や宗派などがありますが、その点も何らかの形で参画する方式を取れば利権などの問題も大事にはならない可能性があります。

●次世代が後を次ぐ者がいなくなる時代になって来た時、このような質問に皆が考える機会が与えられれば良いと思いました。これは墓の問題にかぎらず他にも今後どのような事を考えれば良いか教えていただければ皆にとって良いと思いました。

●出来る限り代々引き継いでいきたいと考えています。

●当方、住職をしております。近年、山の中にある墓を家の近くに移動される方が増えています。跡取りがいない方は寺の納骨堂を購入されるケースも増えています。山の中にある墓は掃除も大変で墓所へ行くのにもお年寄は苦勞するみたいです。屋内納骨堂なら雨や災害の心配も無くいつでも気軽にお参り出来るのも墓を移動される理由だと思います。門徒からの問合せも多く当寺では納骨堂を建てたばかりです。

●墓の管理を今は自分がやっているが自分ができなくなった時にどうしたらいいか考えることがある。子供たちに負担にならないようにしていきたいと思う。

●墓を所有していても後継人がいなくなったらどうするか？墓地が無縁仏になる不安や知らない人の墓の管理などが難しい。

【問6】 新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓未所有で合葬墓利用を希望するとの回答者①〕

●お寺の後継者不足や檀家も減る昨今、安芸高田市は他町と比べて私有地に墓地を構える方が多いので、未来を考えるのであれば合同墓地に集約する方が賢明でしょう。全国的にも無縁仏となる墓が増えており、社会問題となっています。墓地法に則り、合同墓地に移す方向を市として示すべきです。

●私は信仰心がまったくないので自分が死んだ時、先祖の墓に入るとか、あまり考えてないです。むしろ親族に負担をかけないように樹木葬とか海洋散骨とか考えてます。

●宗派が近くに無くお墓もありましたが親も高齢になり中々行く事が困難になり墓じまいを行った為に先々どうしたものかと思う所です。

●土葬や海葬などもいいのではと、思っています。

●墓終いなどこれからの若い世代は頭を悩ます問題だと思う。アクセスの良い場所に誰でも気兼ねなく、お墓の大きさや立派さで見た目を競うこともない、明るい墓地ができたらいいのにと思う。

●墓地を所有していないので、自分や主人は永代供養とか樹木葬にしたいと考えています。

【問6】 新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓未所有で合葬墓利用を希望しないとの回答者②〕

●合葬墓を宗教別であれば利用したい。家族が入っている墓に親せき一同で利用する予定にはしているが。

●四国八十八ヶ寺を5回巡礼（歩き2巡）した縁もあって善通寺で永代供養を考えております。

●自分の墓を建てる積もりですが、宗教が絡むことなので政治や行政が積極的に関与しないで、何かしらの選択肢のフォロー程度で良いのではと思うのですが。

●自分は島根出身でできれば死んだら島根の墓に入りたいと思ったときもありました。でも死んでからのことは家族、特に子供や夫が考え対応することで、死んでまで迷惑をかけたくないと思っています。死んだあとは墓にこだわらずにすむようお金がかかっても海にさっぱりまいてほしいです。それでいて時々自分がいたということを思い出してくれればそれで充分です。自分はたいしたものにはなれなかったけど今の生活で幸せです。色々な考えがあるとは思いますが、一つの意見としてみていただきたいと思います。

●墓地を買わないで仏壇にすべてを納める形式。

【問6】 新たな墓地のあり方について、ご意見ご要望をご自由にご記入ください。

〔墓未所有で合葬墓利用はわからないとの回答者①〕

●海上散骨を家族にはお願いしてます。理由は離れて暮らす家族に墓を維持する負担を負わせたくないからです。アンケートの生年月日入力カレンダーをずーっとクリックしないといけないのは...自分で数字入力出来るようにして欲しいです。

●兄が墓を撤去したので、今はどうなるかわからない。

●残る者に負担がかからない様に散骨をして欲しい。仏壇等も必要ない。

●将来土地の事、墓参りのことを考えると合葬墓はあった方が良くと思います。

●墓は要らないです。残ったものが遺影に手お合わせれば良いと思います。

●墓地を購入すると後の代に、墓を管理してもらわないといけなくなるので、合葬墓には興味はあるが実際はわからない。
